

★情報通信マネジメント研究会 (ICM)

専門委員長 野村祐士 副委員長 三好 優・高橋英士

幹事 加藤能史・内海哲哉 幹事補佐 山本 嶺

日時 7月7日(木) 13:00~16:30

8日(金) 9:30~12:10

会場 とかちプラザ(〒080-0014 帯広市西4条南13丁目1. <https://okamotopbc.jp/tokachi-plaza/guide/access/>)

議題 エレメント管理, 管理機能, 理論・運用方法論, 一般

7日午後 ICM1 (13:00~14:40)

1. [奨励講演] 操作ログを用いたシステム操作の正確性の定量化及び可視化に関する一検討
○小矢英毅・片岡 明・大石晴夫 (NTT)
2. サービス監視用 OSS を利用した音声品質劣化監視の検討について
○小野塚康浩・柴田章弘・春藤義隆・榮 浩三 (ドコモ・テクノロジー)
3. 対戦型ゲームに対する通信品質の影響に関する検証結果 吉田正之 (NTT コミュニケーションズ)・渋谷浩史 (ザ・ウェーブ)・○佐藤陽一 (オープンシステムズラボラトリー)
4. 環境適応処理における配置再構成の提案 山登庸次 (NTT)

ICM 招待講演 (14:50~16:30)

5. [招待講演] ゼロトラスト・アーキテクチャとリスクマネジメント 海野由紀 (富士通研)
6. [招待講演] Towards Large-scale Disaster-Resilient Network-Cloud Ecosystem Facilitated by Open Disaggregation and Cooperation Technologies
○Sugang Xu (NICT)・Kiyo Ishii (AIST)・Noboru Yoshikane (KDDI Research)・Subhadeep Sahoo・Sifat Ferdousi (UC Davis)・Masaki Shiraiwa・Yusuke Hirota (NICT)・Takehiro Tsuritani (KDDI Research)・Massimo Tornatore (UC Davis)・Yoshinari Awaji (NICT)・Shu Namiki (AIST)・Biswanath Mukherjee (UC Davis)

8日午前 ICM2 (9:30~10:45)

1. 障害リンク検知のためのオイラー閉路を用いたパケットロス計測経路の設計
○佐野由一・柴田将拡・鶴 正人 (九工大)
2. 動的 in-band 制御チャネルの実装を通じたソフトウェアスイッチ (P4 BMv2) の動作検証
○熊副和美・柴田将拡・鶴 正人 (九工大)
3. [奨励講演] vhost-user におけるキャッシュ作用の究明に向けた包括的評価
○竹谷大地・川島龍太 (名工大)・中山裕貴・林 經正 (ボスコ)・松尾啓志 (名工大)

ICM3 (10:55~12:10)

4. トラフィック情報を利用したトポロジ推定手法における推定精度劣化の自動検知手法の検討
○中村瑞人・牧野裕介・高田 篤・山越恭子 (NTT)
5. 機器設定ファイルからのトポロジモデル抽出による机上検査を含めたネットワーク設計支援システム
○田島照久 (NTT コミュニケーションズ)・川口永一郎・滝口敏行 (BIGLOBE)・萩原 学 (TIS)・新里康晃 (OOL)
6. NW 障害対応 AI 学習データ不足問題へ向けたデータクラスタリング効率化の検討
○李 頤・野末晴久・山本憲男・田山健一 (NTT)

【問合先】

ICM 研究会幹事

E-mail : icm-kanji@mail.ieice.org

<http://www.ieice.org/~icm/jpn/>